

会議名：地域レジリエント社会研究コンソーシアム インフラ DX 実践 WG 2025 年度第 1 回 WG 会議

時間：2026 年 1 月 29 日(木) 10:00~12:00

場所：埼玉大学 環境社会デザイン学科棟 1 号館 1 階 31 番教室

参加者：首都高速道路：西岡友樹、竹山健太

株式会社ゼンリン：檜垣晋一郎、中村英二、堀直弥

埼玉高速鉄道株式会社：小沢英幸、高山拓

中央開発株式会社：福原誠

川金コアテック：高橋純一、榎正二郎、藤田航

一般社団法人協働型災害訓練：酒井千富

国土交通省：小林正典(オンライン)

埼玉大学：齊藤正人、党紀、吉田健人、川上泰佑、原基稀、吉田智哉

議題：

第 1 部：開会挨拶、WG メンバー紹介

10:00~10:05 開会挨拶 地域レジリエント社会研究コンソーシアム 副会長 齊藤正人教授

10:05~10:50 WG メンバー紹介 インフラ DX に関する取り組みなど

首都高速道路：竹山健太

株式会社ゼンリン：檜垣晋一郎

埼玉高速鉄道株式会社：小沢英幸

中央開発株式会社：福原誠

川金コアテック：藤田航

一般社団法人協働型災害訓練：酒井千富

国土交通省：小林正典

第 2 部：話題提供と研究発表

10:50~11:05 吉田健人 UAV-SfM による構造物の 3 次元化手法の検討

11:05~11:20 川上泰佑 深層学習(NeRF)による 3 次元シンの構築と LERF による損傷検出

11:20~11:35 原基稀 3 次元空間における鋼製橋脚の座屈損傷の定量的評価

11:35~11:45 吉田智哉 深層学習による橋梁の地震損傷検出

11:45~12:00 意見交換

各会員から会社の紹介とインフラ DX に関する取り組みの紹介がありました。特に鉄道トンネルの 3 次元点群を取得してその変状を前後の差分比較、斜面崩壊における IoT デバイスのモニタリング、タブレットを用いた高速道路の点検、橋梁支承におけるレーザー変位計測や光学的に変位計測と異状抽出、ドローンを用いた災害時の点検と被害抽出などの紹介がありました。短時間で非常に豊富な紹介となり、今後また別途 WG を実施し、より詳細な意見交換を実施したい。

